

## 第4回 天山地区共同環境組合

### エネルギー回収型廃棄物処理施設整備検討委員会

日時：平成28年3月18日（金）15：00～

場所：多久市役所 2階 第1委員会室

出席者 宮島 徹（佐賀大学大学院工学系研究科教授）

牧瀬 伸雄（小城市環境審議会代表）

久保 正治（多久市ごみ処理施設経験者）

外尾 信久（小城市ごみ処理施設経験者）

溝口 秀次（地元建設委員会代表）

事務局 小池 孝司（事務局長）

福元 光弘（係長）

友田 慎二（主査）

高木 栄太（主任）

コンサルタント 日本水工設計㈱

#### 1. 開 会

#### 2. あいさつ

委員長より挨拶。

#### 3. 議 事

##### ○答申書（案）について …… 資料1

事務局より答申書（案）について、前回からの修正箇所を説明。

答申書（案）4つの項目について説明。

<委員A>いくつか細かいことになるかと思いますが、3 ページ最後の「ストーカ方式を推奨します。」という最後の文章のところですけれども、「最も高い優位性が確認された」と過去形になっています。ここは言葉が未来のことを言っているのに「確認された」となってしまうと違和感があります。何か「優位性がある」という方が言葉としては合うと思います。そして、5 ページと6 ページ。表の新しく追加された0円というのは、意味が分かりにくいので、これは横バーが良いのではないですか。ここは発生しないという意味だと思いますので。0円となると表を読んだ時に違和感がありました。それと最後の7 ページ、DBO方式の説明で、何々

を推奨します。というところがありますが、その前に「見込まれるため」とありますが、「見込まれる」と止めた方が文章として適切ではないかと感じます。それから、その下の「ただし、」の部分は行を開けた方が良い。他のところは、一行開けてありますが、この「ただし、」を一段下げて文章を区切った方が良くないかと感じます。以上です。

<委員長>いくつかのご指摘がありました。事務局の方で検討してください。

<事務局>今、いただきましたご意見で、修正をさせていただきたいと考えております。特に問題等なく、そちらの方が分かり易いようなところもありますので、そういうふうな修正をしたいと思えます。

<委員長>修正は今すぐ出来ないのですか。

<事務局>それでは皆様のご意見としてよければすぐに処理をさせていただきたいと思えます。

<委員長>他の委員さんは、今の点はよろしいでしょうか。

<委員B>良いと思えます。

<委員長>他に何か修正を掛けるところがありましたらお願いします。

<委員C>7ページの(2)SPCを教えてください宜しいでしょうか。SPCというのは、例えば、A会社が設立するとして、SPCというのは、特別目的会社と書いてあるが、その設立した会社とは全く別の会社ですか。

<事務局>ここでいうDBO方式の場合が、建設する会社と運営維持管理する会社を決めて契約等をしますが、この建設する会社と運営する会社がそれぞれ出資をする会社になります。そこからいくと別会社になるのですが、ただ、それぞれ出資をする会社になりますので何か問題等が発生した際は、すぐ建設会社の方から支援や修理等の業務をしていただけるような関連性はある会社ということで考えてもらって結構だと思います。

<委員C>全然関係ないというわけではないと。

<事務局>はい。出資した親会社という形になりますので。ただ、独立性を保つ為に、そういうSPCを設置するというような形になりますので、全く関係のない会社ではありません。関連する親会社的な意味合いの会社になります。

<委員C> S P Cというのは、1社だけですか。他にもありますか。

<事務局>今回、DBOで事業を進めていくとなれば、1社を設立してそこで運営をしていくというようなところで考えておりますので、複数発生するということは考えてはいません。

<委員A> こういうふうにかえたらいいですか。会社とは色んな事業をします。経営管理をたくさん書くではないですか。それを1つだけ書いてある。そういう法人を設立するということによろしいでしょうか。

<事務局> はい、そうです。

<委員A> ありがとうございます。

<委員長> 他に、ご意見、ご質問はございませんか。

<事務局> 他に意見・修正箇所等がなければ、今、修正作業を行っておりますので、すぐその資料を持って、こちらの委員に配布をしていくというようなところで考えておりますので、「その他」のところを先にお話をさせていただきたいのですが、どうでしょうか。

<委員長> はい、了解いたしました。答申書の修正作業中ということですので、それが終わるまで、その他の項目について、事務局の説明をお願いします。

#### 4. その他

<事務局> その他の項目といたしましては、3月14日に開催いたしました第3回目の検討委員会と本日開催いたしております第4回目の検討委員会の議事録を作成いたしまして、皆様に確認を取っていただくというような作業を予定しております。これについては、3月末までには、その資料の作成をいたしまして、各委員の自宅の方に郵送をするという、これまでと同じような手順で行いまして、何かご意見等がございましたら、それを修正したのちに、組合のホームページに議事録というような形で、第3回目・第4回目を掲載していくというような作業を行いたいと思いますので、3月末までには、各委員の方には送らせていただきますので、ご確認をお願いしたいと思います。よろしいでしょうか。

<委員> はい。

<事務局> それと、その他の項目で、答申書の修正したものをお渡しいたしまして、そこで最終的な確認を取っていただいて、皆様のご意見等がなければ本日、管理者の横尾市長に対して、答申

書を手渡すというようなところまで考えております。今、市長が庁内におりまして、他の会議にまだ入っているかもしれませんので、こちらの会議が終わり次第、秘書係に連絡を取って、市長に答申書を渡すという流れになりますが、その会場をこちらとするのか、市長の応接室とするのか、秘書係に連絡を取ってから決めていきたいと思っております。また、その分については、皆様に連絡をいたしますので、しばらくの間お待ちいただければと思います。事務局の方から、その他の事項というようなところで、委員の皆様にご報告させていただくことは以上になります。

<委員長>はい、分かりました。

### ○答申書修正箇所確認

<事務局>お手元に先ほどの修正された答申書が渡っているかと思っておりますので、そこで再度ご確認をいただきたいと思っております。修正された箇所につきましては、3ページにあります文章の一番下、「優位性があるストーカ方式」と修正を行っております。2点目の修正箇所が、6ページ目になります。「0円」という表現のところ、1ヶ所の訂正しかされていないようですので、再度、これについては最終的に管理者に答申をする際には修正をさせていただきたいと思っております。それと3点目の修正箇所につきましては、7ページ目の「ただし」書きの上のところの「DBO方式を推薦します。」の前のところですが、ここも訂正がされていないので、この場所も訂正をいたします。

<委員A>ここは直さなくていい。削ったら文章が繋がらない。

<事務局>分かりました。「ただし」書きのところ、改行をして、文字行を1行下げるといような修正箇所を、3点を修正させていただくということで、あと、先ほども言いました6ページの0円というところの修正箇所だけ再度、修正させていただきたいと思っております。それで最終確認をお願いしたいと思います。

<委員長>先ほど、ご指摘がありました訂正箇所ですが、事務局の方で訂正されているということで、各委員よろしいでしょうか。

<委員>はい。

<委員長>了解をいただいたということで承知いたしました。

<事務局>ありがとうございました。

それでは第4回目の検討委員会に向けまして、答申（案）というようなところから実際の最

最終的な答申になってきていますので、今から管理者に連絡を取りまして、この答申書を委員長から手渡しをいただきたいと思います。12月から今日の第4回目の検討委員会に渡って4回のご協議をいただきました。色々なご意見をいただきましたので、地元との連絡等を十分に諮りながら建設の為のご協力をいただき、こちらも配慮をしながら取り組んでいきたいと思ひます。本当にこの4回に渡る検討委員会ありがとうございました。  
秘書係に連絡を取りますので、もうしばらくお待ち下さい。

○管理者が第1委員会室に来られる。

<管理者>お疲れ様です。

<委員>お疲れ様です。

<事務局>昨年12月から今日に渡って4回の検討委員会の協議をいただいて、本日、答申書が出来ました。委員長から管理者である横尾市長に答申書の手渡しをお願いしたいと思ひます。よろしくお願ひします。

<委員長>手渡しさせていただきます。

<管理者>ありがとうございます。

<委員長>少し掻い摘んで読ませていただきます。

委員長より答申書の要点説明。

<管理者>この度は、ありがとうございました。慎重にご審議、ご協議いただいて本日まとめていただいて、ただいま委員長から答申を受けさせていただきました。それぞれの重要な項目、規模、方式・炉数等について、また運営方式についても推奨の答申をいただいたところでありますし、また最後にご紹介になりました運営についても3点の留意点ということでいただきましたので、それぞれしっかり受け止めて今後の事業推進、また地域への対応等に努力をして参りたいと改めて思ったところでございます。この間、大変なご多忙な立場であるにも関わらず、ご協力を賜りましたこと重ねてお礼申し上げますと共に、今後もいただきました答申を基に適切な対応、推進をしていきたいと思ひておりますので、ご助言を仰ぐこともあろうかと思ひますが、その折にはご指導をよろしくお願ひ申し上げたいと思ひております。委員長を始め、委員の皆様にも重ねてお礼申し上げます、本日の答申の受理のお礼に代えさせていただきます。本当にありがとうございました。

## 5. 閉 会

<事務局>本当に長い間、色々な面でご協議いただきましてありがとうございました。今日の答申をいただきまして管理者が言われましたように、組合といたしましても地元との協議を行いながら建設に向けた努力をさせていただきたいと思います。本当に長い間ありがとうございました。

<全 員>ありがとうございました。